



4月えんだより

2017年 4月1日

社会福祉法人神戸YMCA福祉会
幼保連携型認定こども園
西宮YMCA保育園
園長：谷川 尚

2017年度年間聖句：

「あなたがたは神に愛されている子どもです。」

エフェソの信徒への手紙5章1節

4月聖句：

「あなたがたに平和があるように」

ヨハネによる福音書20章26節

入園、進級おめでとうございます。

4月は咲き誇る桜のように、はっきりとはしない色合いの中、胸いっぱい思いをもって迎えていることと思います。先への希望、喜び、そして見通せないものへの不安、いろんな思いの中であふれかえりそうになっている子どもやおうちの方もおられるのではとお察しします。でも、たくさんの出会い、たくさんのふれあいの中でまた豊かな時間が与えられるようにと歩んでまいりますので暖かく見守っていただければと思います。

昔々のこと、国を治めるためにその時代その時代の首領はいろんな方法を行っていました。ある首領は武力で国を統治しようとしていました。ある首領は自分の思いに逆らうものを反逆として処罰する中で国を治めようとしていました。ある首領は自分に歯向かったものも征服した周りの地域のものの罪を許し国の一員として歩むように治めました。はたしてどの首領が国を一番発展させてのでしょうか？ これは逸話でもおとぎ話でもなく歴史のお話です。古代ローマ帝国がなぜ発展を遂げてその後滅亡を迎えたのか、今でも多くの書物に取り上げられています（ex「ローマ人の物語」塩野七生著、新潮社など）。地域の一部族、あまり恵まれた土地でもなく周りの列強におびえながらいたローマ民族がローマ帝国としてヨーロッパ全域を治め、そののちに衰退の中帝国を分割していきなくなるまでの歴史が書かれています。その中でも圧倒的な存在感を示しているのが、中興の祖、ユリウス・カエサル（昔はジュリアス・シーザーと英語読みされていました）です。

ユリウス・カエサルは戦では負け知らず、論争においても誰よりも雄弁かつユニークであり、比べるものがない存在です。しかし、そのスケールの大きさが際立っていたのが「クレメンティア（寛容）」な部分です。征服した部族に対しても、論争相手であり自分を失脚させようとしたライバルに対してもその過去の行いを咎めず、改心すれば身内として処遇しました。その行いにより征服後の地域はローマ帝国の一員となって更なる繁栄をもたらしたと記録されています。

現代社会の特質として「多様性」があげられるようになりました。働き方や物事に対する考え方や価値観、多種多様な生き方が当たり前になっていきました。そんな中、他者とかかわる中で、力でもなく恐怖でもなく、他者の考えや物の見方を尊重しながら接していく「寛容」力を持つことが大切な時代になっているといえるでしょう。

保育園は多様なご家庭、そしてそれぞれが豊かな個性をもつ子どもが出会う場です。ひとりひとりが愛されている大切な存在であることを知ること、だからひとりひとりが尊重されるべき存在であることを感じる場であるように、変化の中で思いを強くしています。ぜひ皆さんの様々な思いに触れながら、ともに手を取り合って、子どもの未来のため、平和な未来のために、日々歩めるようこの一年もご協力お願いいたします。

月主題	であう	
	乳児（0.1.2歳児）	幼児（3.4.5歳児）
月のねがい	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境や保育者に出会う ・保育者に守られて、安心して過ごす 	<ul style="list-style-type: none"> ・気に入った場所や遊具が見つかる ・新しい環境で保育者や友だちと安心して過ごし、喜んで登園する。 ・神様に出会う（新入園児）